

大学研究センター研究活動概要

設立趣意

情報化社会の発展の中で、大学を中心とした高等教育機関に対する期待と要求は、今日世界各国においてきわめて強いものとなっている。特に、工業資源に恵まれず、人間の教育と知的創造が国家の存続と繁栄に直結するわが国において、すぐれた人材の育成、組織的な学術研究、国民の文化水準の向上等を課題とする大学等のあり方は、きわめて重要である。

また、我が国の大学等には、国内的必要性にとどまらず、最近では国際的にもますます大きな期待が寄せられ、新しい協力関係が求められている。

本センターは、筑波大学が新構想大学の中核として創設され、大学改革に豊かな経験と資料を有しているという強みを生かし、高等教育の内容及び方法、高等教育システム・制度・政策の理念・構造・機能に関する総合的な研究を、学術的な知見をベースに学際的かつ政策指向を重視しつつ行うと同時に、こうした研究を通じて実践可能なモデルの開発、試行及び提供を行うことによってわが国の大学を中心とした高等教育の改革推進に寄与することを目的として、1986年（昭和61年）年東京都文京区に設置された。本センターは、国立大学では広島大学大学教育研究センターについて、全国で2番目に設置された大学及び高等教育を学術的に研究する数少ない専門機関の一つであり、わが国の大学改革推進のために、特に“at Tokyo”のセンターとして、今後の活動が全国的に期待されている。

研究活動の概要

センターの研究活動は、学内・学外の専門家の協力のもとに行われる共同研究プロジェクト、個人研究、公開研究会等の方式で行っている。

1 共同研究プロジェクト

センターでのこれまでに実施した主な共同研究の研究代表者、テーマ、時期は以下の通りである。

(1) 山田圭一

「新しい専門分野の形成過程に対する研究組織及研究者の対応のしかたに関する研究」
昭和60～62年度文部省科研費総合研究A

(2) 黒羽亮一

「高等教育需要の将来変化に対応する大学立地政策の総合的研究」
昭和62・63年度文部省科研費総合研究A

(3) 黒羽亮一・館昭・清水一彦

「教養部改組を中心とした大学教育改革に関する調査研究」

(3) 黒羽亮一

「わが国における大学院発展の可能性－グラジュエートスクールとプロフェッショナルスクールの比較の視点を中心として－」
平成元～3年度文部省科研費総合研究A

(4) 原康夫

「大学における物理の基礎教育」
平成2～4年度文部省科研費総合研究A

(5) 山本真一

「大学における研究機能の発展と変容に関する調査研究」
平成5～7年度文部省科研費総合研究A

(6) 原康夫

「筑波大学の新发展のための方策に関する調査研究」
平成5～6年度筑波大学長裁定

現在センターでは次の2つの共同研究プロジェクトが進行している。

(7) 山本真一

「学術研究に対する資金供給システムに関する基礎的調査研究」
平成9～11年度文部省科研費基盤研究B

(8) 清水一彦

「生涯学習社会に対応する大学改革の方策に関する調査研究」

各教員はこれらのプロジェクト以外に、外部の研究者との多くの共同研究に参加している。

大学研究センター研究員（平成9年度）

区 分	氏 名	所 属 ・ 職 名
研究員教授 (学内研究員)	門脇 厚司 桑原 敏明 前川 孝昭 小田切宏之	教育学系・教授 教育学系・教授 農林工学系・教授 社会工学系・教授
客員研究員	荒井 克弘 金子 元久 黒羽 亮一 高倉 翔 戸波 江二 原 康夫 松村 睦豪 山田 圭一 山野井敦徳 小林 信一 田中 雅文 塚原 修一	大学入試センター研究開発部教授 東京大学大学総合教育研究センター長 常盤大学国際学部教授 明海大学外国語学部教授 早稲田大学法学部教授 帝京平成大学情報学部教授 岡山理科大学理学部応用数学科教授 財団法人政策科学研究所副理事長 広島大学大学教育研究センター教授 電気通信大学大学院情報システム学研究科助教授 日本女子大学人間社会学部助教授 国立教育研究所教育政策研究部教育制度研究室長

2 個別研究

専任スタッフとその研究内容は下記の通りである。

氏 名	職名・所属	研 究 内 容
山本 眞一	センター長 教授・教育学系	高等教育システムの比較研究 高等教育政策に関する研究 大学の研究機能に関する研究
清水 一彦	助教授・教育学系	大学単位制度・学位制度に関する研究 大学改革・大学評価に関する研究 生涯学習と大学に関する研究
加藤 毅	講師・社会工学系	高等教育システムに関する政策研究 大学の研究機能に関する研究 生活時間に関する研究
阿曾沼明裕	助手・教育学系	大学の研究機能に関する研究 大学財政・組織に関する研究 科学社会学に関する研究

3 公開研究会

公開研究会は、各回ごとにテーマを設定し、主に学外の研究者の方々をお招きして研究発表・討論を行うもので、高等教育研究に関する学術交流・公開活動を目的としている。平成9年に開

催された研究会の発表課題は下記の通りである。

(1) 第28回公開研究会（平成9年3月17日）

テーマ「政府と大学—政策研究の在り方を巡って—」

近代日本の政府と大学—三つの論点から—

寺崎昌男（立教大学文学部教授）

「国立」大学の在り方を考える—体験的設置者行政論—

川村恒明（日本育英会理事長）

筑波大学の経験から

古賀達蔵（筑波大学副学長）

政府と大学—私学の立場から—

濱名 篤（関西女学院短期大学教

授・学校法人濱名学院理

事・同法人本部長）

政府と大学—国立大学の立場から—

潮木守一（名古屋大学大学院国際開

発研究科教授・図書館長）

(2) 第29回公開研究会（平成9年7月28日）

テーマ「行政改革の中での国立大学—知識社会へ向けた期待と展望—」

行政改革の中での国立大学

慶伊富長（北陸先端科学技術大学院大学学長）

21世紀の高等教育と国立大学

村田直樹（文部省高等教育局大学課大学改革推進室長）

大学改革の好機をとらえて

沖吉和祐（北海道大学事務局長）

マインドセットの変更を—変化のスピードに対応するための「産」の助言

池上徹彦（NTTアドバンステクノロジー社長）

行政改革の中での国立大学

山岸駿介（教育ジャーナリスト・多摩大学教授）

4 出版活動

センターにおける研究成果の公表は、センターの紀要である『大学研究』で行われている。『大学研究』は毎年1～2回刊行し、現在第17号までが刊行されている。第17号の内容は以下の通りである。

『大学研究』第17号（1996年12月）

特集「大学初年級向け物理教材モジュールの開発と評価」

はじめに（阿部龍蔵）

I モジュールの事例（木下紀正、兵頭俊夫、房岡秀郎、柏村昌平、勝木渥、大濱順彦、高野庸、中山正敏、和田信二、櫻井捷海）

II 講義、演習用モジュール（原康夫、櫻井捷海、林憲二、中山正敏、勝木渥、高野庸、近桂一郎）

- Ⅲ 実験の開発（仲澤和馬、小坂英司、内田和喜男、鈴木厚人、国井暁、鶴岡靖彦、徐丙鉄、藤原勉、堀田明男、舛谷敬一、遠藤一太、川崎辰夫）
- Ⅳ ワーキンググループの報告（青野修、近桂一郎、林憲二、原康夫、木下紀正、兵頭俊夫、房岡秀郎、柏村昌平、櫻井捷海、鶴岡靖彦、飯尾勝矩、内田和喜男、近藤一太、仲澤和馬、宮脇澤実、櫻井捷海、勝木渥、大濱順彦、高野庸、中山正敏）
- あとがき（和田信二、飯尾勝矩、近桂一郎）

その他、学内外の諸メディア、学会誌や単行本などに個人名で研究成果を公表している。

大学研究センター運営委員会委員（平成9年度）

選出区分	委員	所属・職名
センター長	山本 眞一	教育学系・教授（委員長）
企画調査室長	谷村 秀彦	社会工学系・教授
センター長推薦	村上 和雄 清水 一彦	応用生物化学系・教授 教育学系・助教授
研究審議会推薦	小田切宏之 桑原 敏明	社会工学系・教授 教育学系・教授
教育審議会推薦	岩崎 庸男 宮崎 修一	心理学系・教授 物質工学系・助教授
学長指名	岩崎 洋一 鈴木 久敏	物理学系・教授 社会工学系・教授